



JAC北九だより

No. 83 (平成30年 第1号)

公益社団法人 日本山岳会 北九州支部

kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発行:公益社団法人 日本山岳会北九州支部
 支部長 関口 興洋
 事務局: 行橋市東泉3-18-10
 竹本 正幸方
 TEL-FAX 自宅 0930-28-9611
 携帯 090-6739-9251
 編集人: 事務局(森 義雄)
 印刷: 山口県山口市水の上町2-25
 内 藤 製 本 所

新年のごあいさつ

(公社) 日本山岳会北九州支部

支部長 関口 興洋



平成29年度 年次晩餐会懇親山行足和田山(五湖台)から

各位

あけましておめでとうございます。

皆様には清々しいお正月をお迎えになったこととお喜び申し上げます。

昨年は公益事業・共益事業とも折角計画しながら、天候不良の影響を受け中止した事業も相当あり残念な思いをされたことと思います。

平成30年の新春を迎えるにあたり、年頭のごあいさつを申し上げます。

現在、最大の課題は高齢化にともなう会員数の減少と新規会員の獲得がなかなか困難であり、その結果、会の財務内容が悪化し、このままでは会の運営が危ぶまれる危機的な状況に立ち至っているということでもあります。

この現状打破のため、平成28年10月から「準会員」制度を新たに導入し新規入会のハードルを下げ、会員の増加を図る方針が打ち出されました。

当支部でも本部の方針に沿って活動しておりますが、まだ目立った成果を挙げる段階には至っていません。会員の皆さまにはこの厳しい現状を認識の上、今年も引き続き新しい会員の獲得にご尽力いただきたくお願い申し上げます。

平成30年度の事業計画につきましては、次の項目を念頭におき推進してゆきたいと思っておりますので皆

さまのご支援・ご協力をお願いいたします。

(公益事業)

1. 8月11日の「山の日」に実施する家族登山を昨年に増して地域社会への貢献事業と位置付け、行政・メディアとも連携して、子供たちに自然と触れ合うことの楽しさを知ってもらい、山への関心を深めてもらう。

2. 例年、英彦山の山開き前に行っている清掃登山を今年も添田町の協力を得て実施する。

3. 英彦山のバイオ・トイレの清掃、管理業務を地元山岳団体と協力しながら行う。

4. 例年実施している「さいわい幼稚園」の遠足登山(風師山、矢筈山)のサポート事業を継続して行う。

5. 平尾台・広谷湿原のラムサール条約登録を目指し、活動している東筑紫学園高校理科部とラムサール条約登録実行委員会の要請を受け、本部に後援名義使用許可申請を行ったところ、昨年11月に名義は「公益社団法人 日本山岳会」とすることで承認された。これを受け第13回「ラムサール条約締結会議」(ドバイ)にて登録を目指す活動を支援いたします。これを機会に若人との接点が広がれば幸いです。

6. 福岡地裁小倉支部より、非行青少年の更正活動の一環として、山野の自然にふれて英気を養い社会復帰への一助にしたいので近郊の低山を案内してほしいとの要請があった。窓口は小林英世会員(15834)。11月26日(日)風師山～矢筈山のコースを案内したところ、この縦走ルートが素晴らしいので検討したいとのこと。今後、正式に協力要請があれば新規案件として新年度の公益事業として推進したい。

(共益事業)

1 月例山行の充実化と安全登山の徹底。

2 第2回「榎 有恒碑前祭」の実施

3 指導員研修、年間4回 講師: 園川顧問

4 山岳専科、年間4回 講師: 園川顧問

5 ポレポレ山行(中高年向き日帰り登山が主体)

6 版画教室 月2回(同好会)講師: 伊藤顧問

10月22日 「榎 有恒」 碑前祭の報告 13643 関口 興洋



来賓の森武昭前会長、石原氏を囲んでの集合写真

2016年の5月14日、風師山に設置されている「榎有恒」記念碑の前で、マナスル登頂60周年を記念してささやかな碑前祭を北九州支部主催で行いました。

この大きな節目の年に8月11日が「山の日」として国民の祝日となりましたが、この機会をとらえ支部としては毎年、風師山を舞台とした「家族登山」を定着させ、常に榎さんの記念碑と略歴碑を仰ぎながら功績を語り継いでゆきたいと念願しております。

榎さんの偉大な功績を後世に伝えるために、昨年も10月22日(日)に碑前祭を行うこととし、北九州市門司区役所、毎日新聞社の後援をいただき準備を進めました。

ところが、当日はあいにく、台風21号襲来の天気予報に接し風師山での催事は残念ながら中止いたしました。ただ、午後のメイン行事である記念セッションは予定通り山麓の門司倶楽部で開催しました。

日本山岳会の森武昭前会長、日本山岳会東海支部の石原國利名誉会員にごあいさつをたまわり誠にありがとうございました。感謝申し上げます。

また、当日は偶々、総選挙の投票日と重なったため門司区長よりは書面で丁寧なお祝辞をいただき、参加者の前で披露させていただきました。

11月下旬、福岡地裁小倉支部の若い職員の方々に風師山にご案内する機会があり「ヒマラヤの8千米未踏峰のマナスルに初登頂した時の登山隊長であった榎さんをご存じですか?」と聞いたところ誰も知りませんでした。当然でしょうね。山の好きな人でも半世紀を超えた昔の歴史を垣間見る機会はこれからますます失われていくでしょう。

せめて日本山岳会の会員が心を合わせて、常日頃、偉大な先人の事績を啓蒙してゆきたいと願っております。

会員：参加者24人(夜の懇親会出席者を含む)

日本山岳会前会長森武昭ご夫妻、東海支部石原國利

会員：園川陽造、井上祐、原広美、板倉健一、伊藤久次郎、井上禮子、馬場基介、関口興洋、内藤正美、丹下洽、大木康子、榊俊一、丹下香代子、竹本正幸、竹本加代子、池田智彦、縄手修、奥田スマ子、塚本久嘉、地元山岳会：菱田哲郎、柳原武志

第33回全国支部懇談会報告

主 管：公益社団法人 日本山岳会 茨城支部

期 日：平成29年10月13日(金)～14日(土)

会 場：筑波グランドホテル

参加者：関口興洋、竹本正幸

●10月13日

25支部より140人が参加されました。

懇親会では、牛久相撲甚句会による「相撲甚句」が披露され、筑波山名物・ガマの油売り口上でさらに盛り上がりました。

●10月14日

関口支部長は国土地理院の見学、竹本正幸は筑波山登山。登山は、ホテルを午前8時出発の御幸ヶ原コース(歩行時間5時間)に参加する。雨具を着用して筑波山神社に参拝後、御幸ヶ原を目指してスローペースで登る。御幸ヶ原から男体山をピストンして茶屋にて昼食。その後女体山に登り、雨も激しくなったのでケーブルにて下ることになった。

ホテル午後2時着解散となる。

第19回支部総会のお知らせ

期日：4月21日(土)

場所：未定

詳細は、1月役員会で決定

※3月末に、会員あてに送付します

英彦山清掃登山のお知らせ

今年も英彦山の清掃登山を行います。

多くの会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

期日：4月15日(日)

集合場所、内容は後日お知らせします

11月18日～19日
熊本支部60周年
記念式典に参加して
5306 園川陽造



記念山行鞍岳山頂の集合写真(重廣副会長を囲んで)

●記念式典・祝賀会は熊本アークホテルで開催

- ・感謝状・偉業達成表彰
- ・記念講演「六大州の山をめざして」
- ・懇親会(演奏:アンデス音楽の誘い)
- ・記念登山(女岳・鞍岳)

(1) 60周年式典について

熊本支部会員の最若年の宮本恵さんの司会で、当該支部長松本莞爾氏のあいさつにはじまり、来賓の日本山岳会副会長重廣恒夫氏、歓迎のあいさつ村暉幸氏などがあつた。

- ・感謝状(登山功績)工藤文明氏
- ・日本百名山登頂原田栄作氏が表彰された。

(2) 記念講演について

熊本支部の顧問工藤文明氏から「六大州の山をめざして」の講演が映像を併用するなど、思い出を含め1時間30分余り懇切丁寧な講話を聞くことができ

た。

- 1971年 ネパールヒマラヤ ゴーキョウ
- 1972年 ヨーロッパ アルプス
- 1972年 イムジャ・コーラチュンク
- 1974年 キリマンジャロ
- 1976年 北極グリーンランド
- 1977年 ニューゼalandMtクック
- 1979年 カナディアンロッキーMtアシニポイン、アサカバスカ
- 1981年 南アメリカ アコンカグア

(3) 懇親会について

熊本支部橋本悦子さんの司会ではじまった。

いつもの日本山岳会の懇親会の流れで、テーブル毎の交流が良い雰囲気の中で進行した。その雰囲気の中で、松本莞爾氏(熊本支部)・関口興洋氏(北九州支部)・高木荘輔氏(福岡支部)・荒武八起氏(宮崎支部)・加藤英彦氏(東九州支部)それぞれの紹介とコメントがあつた。

ピエント演奏「アンデス音楽への誘い」をテーマに、若きアーティストの熱演があり宴たけなわをへて、山本直氏の閉会宣言で和やかな宴と式典は閉幕した。

(4) 記念登山について

11月19日(日)鞍岳山麓「四季の里」で開会式、それ以降A・Bコースに別れ、鞍岳をめざして登山を開始した。山頂コル正午頃A・Bコース合流・昼食と記念撮影を行う。鞍岳にはA・Bコース共に登りコースや地震の規模など説明を受け、それぞれ予定コースを経由して「四季の里」へ下山した。午後3時ごろ事故もなくA・Bコースとも再合流し、現地解散60周年事業のすべてが終わり各々帰路についた。

出席者: 7人

会員: 園川陽造、関口興洋、丹下洽、丹下香代子、竹本正幸、竹本加代子、縄手修

11月3日～4日
第33回宮崎ウェストン祭

◆宮崎支部の温かいおもてなしに感謝
A0078 藤原 玲子

11月3日～4日の第33回宮崎ウェストン祭に初めて参加しました。

初日は、行橋を午前10時に出発し、五ヶ所公民館に午後1時40分に到着。午後3時、三秀台ウェストン碑の小高い丘で、記念式典がスタートしました。田原小学校の子供達がウェストン碑に点鐘し、献花を行い、各団体代表者のあいさつ、詩の朗読、特に、



三秀台ウェストン碑の前で参加者写真

児童作文は小学生とは思えないくらい文章でとても素晴らしかった。

ウェストン祭の歌を皆で合唱し、田原小児童へ記念品贈呈、万歳三唱で閉会しました。

式典終了後、五ヶ所小学校運動場へ移動。今年は「祖母・傾・大崩山系」がユネスコエコパークに登録認定されたので、記念祭と交流祭が一緒に行われました。会場では、酒とつまみの販売やお神楽、地元女性部の踊り等が披露され盛大に行われていました。5支部の親睦会がはじまるということで早めに引き上げ公民館へ移動し、宮崎支部の温かいおもてなしによる美味しい食事とお酒をいただきながら、楽しい時間を過ごしました。

2日目は、宮崎支部の平田さんから丹助岳を案内していただき、移動中に丹助岳の西、東の岩峰やそびえ立つ尖った岩峰を間近に見た瞬間、圧倒され声が出ませんでした。自動車がやっと通れるほどの狭い道を通り、丹助小屋登山口に到着。平田さんから、登山道は岩コースで行きましょうとの声。途中、天狗岩と呼ばれる大きく迫り出した岩があり、天狗岩からも岩、岩、又岩です。最後に垂直に掛けられた12本のロープがあります。上から見ると、怖かったのですが、全員無事に通過しました。丹助岳の山頂からは今通ってきた天狗岩が見えスリリングな岩場やロープがありました。楽しい山でした。

最後に、宮崎支部の皆さん有難うございました。

◆岩山の丹助岳をのぼる

15834 小林 英世

現地午後3時集合とのことで下関長府駅を午前9時20分、2台の車10人で出発した。

会場は、宮崎県の北西の位置にあり、祖母山の西南西10kmくらいの位置にある。とりあえず、豊前おこしかけ道の駅で一度休憩し、米良(めら)を經由して、竹田方面に向かう。途中、阿蘇大観峰で休憩したため到着が大幅に遅れた。

高千穂町五ヶ所の記念碑がある三秀台には30分遅れで到着した。その時、お祭りの後半も後半、「ウェストン祭の歌」の合唱となっていた。着いたばかりで会場の雰囲気は気持ちになじめず、いい歌だったが覚えられなかった。唯一、ウェストン ウェストン ウォルター・ウェストンだけ唄えた。

終了後、公民館に車を置いて、近くの祖母嶽神社での祝詞御祓いに参加した後、閉校になった旧五ヶ所小学校の運動場で行われるお祭りに向かった。

ところが、ウェストン祭の延長であるべきイベントが、祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会の主催となる。今年からは、初めて行う行事となっ

たため、初めて参加する私には何がなんだかわからない。これまでの参加者の多くは昨年までは全体的に手作りの気持ちのよいイベントだったと話していた。食べ物は、土地柄、鶏を中心としたものだった。その後、公民館へ移動し、交流会となった。宴会も遅くまで続き、就寝した。

翌日朝食の配達も1時間も遅れた。ようやく食事を済ませ、午前9時に公民館を出発。宮崎支部の記念山行は祖母山登山だが、北九州支部は独自で丹助岳を計画した。宮崎支部会員で地元(宮崎市から100km以上ある)の平田五男さんが、日ごろから仲間で丹助岳を整備管理しているとのこと案内をしていただくことになった。

丹助小屋まで車で登り、そこからしばらくは山道だが、元々が急峻な岩山である丹助岳の圧巻が待っていた。展望がすばらしい。秋晴れなのに結構な風があった。そのため天狗岩のへさきまで行ったのは1人のみであった。(想像できるでしょう)

その後、切り立った12本の岩場を全員が降りるのに、1時間ほどかかった。それで予定より時間が遅れてしまい、当初、矢筈山で食事をするつもりができず、矢筈山は次回となった。岩場での行動時間がかかると、全体の計画が狂うことを理解してほしいと思った。

しかし、平田さんの案内で、ルートは安心だったし、周りの山々を解説していただき、丹助岳を堪能することができ、今回のウェストン祭のため宮崎まで来てよかったと思った。感謝、ただ感謝。

次回は、矢筈山を目標に、丹助小屋で芋煮でもやりたい。



平田さんの案内で無事登った丹助岳山頂

参加者：16人

会員：園川陽造、関口興洋、内藤正美、丹下洽、丹下香代子、大内喜代子、竹本加代子、榊俊一、縄田正芳、縄手修、森本信子、歳弘逸郎、大谷恵美子、小林英世、

準会員：藤原玲子、支部友：藤本和代

第2回指導員研修**9月30日～10月1日**

15709 山中 秀正



豊前坊駐車場で写真、指導員の皆さん

今回の研修が、無雪積期の現場での研修でした。場所が、前日に英彦山青年の家に宿泊し、研修場所として鷹ノ巣山を利用しました。前日は、机上学習と指導員親睦を兼ね会食となり思い思いの話をする事ができました。翌日の鷹ノ巣山の研修場所の選定で、一般の山行者に邪魔にならない箇所を探したのですが、練習をすることができる場所は、非常に少なく、二ノ岳から三ノ岳への痩せ尾根を利用しました。しかし、現場では、的なる場所はなかなかなく、支点確保で30度以下に平行な支点場所はさらになく、現場での場所探しと方法応用というのに頭を使います。



岩場を三点確保で登る受講者

一般の山行者の方々の邪魔にならないようにしたので、やはり一般の方が通行し懸垂下降をして山行をされるパーティーがあられました。

現場では、安全ロープを設置します。作業をしている者は危険なセンサーを張り巡らせているのですが、待ち時間や他者の作業を見ている者は逆に落下の危険があると講師より教えられます。さて、エイト環のセットで、2本のザイルを大きい環に通し、小さい環に引っかけますが、この小さい環に引っかけるときにザイルを一回ひねり掛けにして引っかけると他者を背負って懸垂下降をするときの大きな荷重に耐えることができます。

園川講師が生み出した、取って置きの方法です。

また、エイト環を落とすことが起こり、探しに行きますが、音はしたけど場所は分からず、装備をなくすという現場での失敗も起こしてしまいま

した。鷹ノ巣山ピークハントはなしです。無事研修を終了しました。

指導員による山行の研修も必要だという意見も出されました。

指導員研修受講者：10人 講師：園川陽造
 会員：磯野文雄、竹本正幸、竹本加代子、
 縄手修、歳弘逸郎、三浦利夫、山中秀正、
 町元里香、奥田スマ子、三宅明子、

**第3回山岳専科 11月26日(日)
技術講習会「山岳気象 その他」**

北九479 網塚 陽子



受講者の皆さん

山岳専科に参加して、今回のテーマは「気象」でした。楽しい登山にするために、重要なことなのにあまり深く考えていなかったことに気づきました。園川先生の言われた、「一般の気象と登山の気象とは捉え方が違う」という話が印象に残りました。天気の変化をはやく予想すること、また危険を回避する能力を身につけることが必要など、昨今の気象災害の事例を挙げてわかりやすく説明していただきました。

今まで経験させていただいた山行で、登山口付近に着いたにもかかわらず風雨の強さを予想して中止になったり、小雨のなか、じきに止むので登ったりしたことを思い出し、その時々リーダーの方の「山の天気」の知識や危機管理の意識が高かったということがわかりました。これからも安全な登山を行うために、登山のための気象の知識を身につけたいと思いました。

最後に、講習会のご準備いただきました三浦さん、そして一緒に聴講した皆様、ありがとうございました。

受講者：7人 講師：園川陽造
 会員：磯野文雄、赤瀬榮吉、森本信子、
 三浦利夫、清家幸三
 支部友：網塚陽子、山下香代子

同好会活動

ポレポレ会

9/28

華山(下関市713.5㍎)
山歩きを楽しみ歴史を
学べた1日
北九485 松田 幸恵



天候は快晴、通信施設が並ぶ山頂での記念撮影

9月のポレポレは、下関市の最高峰、華山へ。仲哀天皇殯葬所があり、今回は歴史を尋ねての登山でもある。午前9時、参加者は3台の車に分乗し、同市菊川町の「道の駅きくがわ」に集合。そのまま県道34号を北上、登山口駐車場に到着。準備を整え出発。苔むした石段を登り、ユースホステル跡、雪舟の庭、寺院を抜けるといよいよ登山道。

1ヶ月前の下見の頃と比べると幾分気温も下がり、

歩きやすい気候だ。皆の足取りも軽い。途中、下見で発見したスズメバチの巣を心配しながら登ったが、原さんの連絡で、役所によってきれいに撤去されていた。

山道を2時間ほどかけて登ると、急に開けた場所に通信施設のアンテナ群。NHKをはじめ各局のアンテナが立ち並ぶ横を少し登って行くと山頂だ。九州から山陰まで見渡せる眺望が素晴らしい。朽ちかけてはいたが休憩所もある。ここで小休憩し下山。下山で思った以上に時間がかかり、駐車場には午後2時を廻って到着した。山頂で軽食をとったが、時間がかかった分燃料切れを起こしていたかも。下山後、集合場所だった道の駅に戻り、特産のそうめんを使った料理で遅い昼食をとった。ここで、しばし憩いの時間となった。

地元に住んでいながら知らなかったが、歴史のある山。登山者は少ないようだが、近年はパラグライダーの練習場としても使われている。山歩きを楽しみ、歴史を学べた一日であった。予定よりも遅くなったので、長府にある仲哀天皇の墓所訪問は中止となった。

参加者：13人

会員：原広美、井上禮子、伊藤久次郎、関口興洋、丹下洽、丹下香代子、奥田スマ子、町元里香、中畑智子、準会員：藤原玲子

支部友：松田幸恵、立石シマ子、山口得知代、

10/26

鴻の峰(338㍎)
大内氏の城跡に思いをはせる
北九486 立石 シマ子



史跡、大内氏遺跡・高嶺城跡で撮影

だいぶ秋らしく気持ちの良い季節になった10月26日、列車と車に乗って山口県庁の駐車場に集合。

10人が参加しました。

午前9時、山口大神宮登山口から出発。山の中に入るが、低山だけど山頂まで急登が続く。途中大きな雷が大砲みたいな、腹にびびく音が!!市内に自衛隊があるとか、演習中の音らしくビックリ!途中、郭跡や信仰の岩場など歴史ファンには嬉しい道だった。

主郭跡の山頂は、広い平坦地で「史跡、大内氏遺跡・高嶺(こうのみね)城跡」の石碑説明板が立っていた。樹間越しに山口市街地を見下ろせ、CLの丹下さんに大内氏の栄枯盛衰の話を聞きながら展望が楽しめました。

下りに健脚の人達は兄弟山へ。めったに行くチャンスがないと思い行くことに。兄山の下り、すごく一段が広く、足が届かなく、やっと下りましたがきつかった。

山口市内は、歴史があり、珍しい建物や神社も多く、その一つ菜香亭を見学。萩藩の台所支配人が開いた料亭で、今は保存活動を市民グループが中心になって行っているが、山口出身の知名人、総理大臣などの書が多く、また古い食器があり、目を楽しませてくれました。この山は、階段が多く、きつかったけど楽しい山でした。CL丹下さん、有り難うございました。

参加者：11人

会員：原広美、伊藤久次郎、関口興洋、丹下洽、丹下香代子、縄田正芳、町元里香、

準会員：藤原玲子

支部友：伊藤トモエ、立石シマ子、山口得知代

11/26

桧原山 (734.9m)
「紅葉・大岩窟・大樹」
のんびり歩きに心弾む
 14689 大内 喜代子



紅葉を眺めながら、山頂での記念撮影

を見ていると悪戦苦闘の様子です。それを見て私は無理と思い、リュックのみを先に押しやり体だけでスルリと通り抜けた。約85分ぐらいで三等三角点の山頂に着く。

記念写真撮影後は見晴らしの良い上宮近くで昼食タイム。弁当が終えた頃に、ミニトマトや一口菓子等が廻って来て美味しくいただいた。

背にポカポカとお日様を受けて気持ちの良い昼休みを過ごし、下り道へと向かう。こちらの山道では何カ所かの大岩窟がありましたが、見過ごしてしまいそうな所で、その都度CLの丹下氏より説明を受けることができました。昔は山奥深い所へ行者達は、ワラジ履きで行者窟におこもり、信仰を深めていたのでしょうか。感動を胸に下山する。又、千本カツラの巨木を訪ねてみると、大樹はその枝が20~30本あり、株の下の方から天空へ向けて真直ぐに伸び、仰ぎ見ることしばし。皆で手をつなぎ樹の周りに集った。

紅葉、大岩窟、大樹ありの、のんびり歩きに心弾む山歩きでした。

道の駅豊前おこしかけ午前9時集合。顔合わせ後、桧原山正平寺駐車場へ向けて出発。耶馬溪近くの津民では、道路標識があり、迷うことなく目的地に着いた。附近一帯は紅葉、黄葉で染められ、すばらしい景色でした。皆、到着して本堂左側の登山口からゆっくり歩きはじめる。

10分ぐらいで分岐があり、上り道、下り道の標識に従って左側のコースへ進む。やがて「針の耳」という大岩があらわれ、細い通り道で、前の人達

参加者：15人

会員：原広美、伊藤久次郎、関口興洋、丹下洽、丹下香代子、大内喜代子、池田智彦、縄田正芳、塚本久嘉、町元里香、

準会員：藤原玲子

支部友：伊藤トモエ

ビジター：星出清美、伊良原公子、縄田恵美子

◇◇ポレポレ会のご案内◇◇
野の花を愛で、史蹟を巡り、
のんびり山歩きを楽しみませんか
担当：丹下 洽
ゆっくり鑑賞しながら歩きます

- 1月11日 相原山
(伊勢信仰の山、新年登山)
- 2月22日 荒滝山
(大内、毛利氏古城跡、イノシシ鍋)
- 3月29日 障子ヶ岳(山桜)
- 4月19日 小倉ヶ辻

◆集合時間や行程についての問い合わせ先
 丹下洽(携帯090-3732-8843)

◇◇月例山行のご案内◇◇

平成30年1月の山行

●広島宮島弥山

リーダー：内藤正美

- 1、期 日：1月7日(日)
- 2 行程 午前8時 山陽道下松SA集合、
宮島口からフェリーで宮島へ
午前9時 宮島厳島神社で参拝し、多宝塔
ルート、駒ヶ林経由で弥山山頂
正午 紅葉谷ルートで下山
午後2時 フェリー棧橋
午後2時30分 宮島口にて解散
- 3、経費：フェリー代他
- 4、装備：登山用具一式、昼食は各自、他
- 5、参加申し込みは
1月3日まで内藤正美(携帯090-8993-0239)
- 6、その他：参加者には車の乗り合わせなど調整し
連絡します。

●第4回山岳専科

リーダー：三浦利夫

テーマ：レスキュー その他

- 1、期 日：1月21日(日)
- 2、集 合：血倉山ケーブルカー山麓駅駐車場
- 3、時 間：午前8時30分集合
(ビジターセンターまで徒歩で移動予定)
- 4、携行品：登山装備一式・筆記具・昼食
- 5、申込み：三浦利夫(携帯090-2850-6020)
- 6、締め切り：1月14日(日)

●難所ヶ滝(三郡山)登山

リーダー：榊俊一

- 1、期 日：平成30年1月28日(日)
- 2、集合時間：午前8時
- 3、集合場所：九州自動車道【須恵PA(下り)】
- 4、行 程：須恵PA～昭和の森駐車場～(河原谷コー
ス)難所ヶ滝～頭巾山～三郡山～(櫛谷コース)～
昭和の森駐車場(15:00解散予定)
- 5、申込み先：榊俊一(携帯090-8416-4194)
- 6、締め切り：1月15日(月)

2月の山行

●伯耆大山冬山訓練及び大山スキー講習会

◎伯耆大山冬山訓練

- 1、期 日：2月11日(日)～12日(月) 1泊2日

2、行 程

- 11日 北九州～車～大山下山キャンプ場
雪上訓練(滑落停止等)【テント泊】
- 12日 早朝 夏山コース登山(弥山往復登山)
下山後、車で北九州へ(夜到着予定)

3、予算：約20,000円

4、装備品 必需品(アイゼン、ピッケル、ヘルメッ
ト)、共同装備(テント他)

※参加者は、事前に打ち合わせを行います

5、申し込み先：縄手修(携帯080-8733-2738)

6、締め切り：1月27日(土)

◎大山スキー講習会

1、期日：2月10日(土)～13日(月) ※バス利用

2、行程：2/10小倉駅発23：45(大山号)

2/11米子駅到着5：50

大山寺までバスで移動(約1時間)

3、宿泊：やまびこ荘 1泊

4、費用概算：バス代(小倉～米子往復14,700円))
宿泊代8500円、他レンタル代

5、その他

バスの予約がありますので、早めにお申し込み
ください。

6、申込み先：池田智彦(携帯090-5388-6506)まで

7、締め切り：1月13日(土)

3月の山行

●修験の道「峰入り古道」

(岳減鬼山～小石原行者堂) リーダー：塚本久嘉

1、期 日：3月4日(日)

2、集 合：福太郎下駐車場に午前6時集合

3、行 程：福太郎下駐車場～岳減鬼峠～岳減鬼山～

釈迦ヶ岳～砺石峠～大日ヶ岳～林道出会い～

笈吊・貝吊・糸ヶ峰～陣の尾～小石原行者堂

4、難易度：修験者が修行で歩いたハード

(急登の連続)なコースです。

コースタイム：約10時間

※エスケーブルート：豪雨被害で通行止めの為
エスケーブルートはありません

5、申込み：塚本久嘉(携帯090-7475-6084)

6、締め切り：2月20日(火)

○都合により逆のコースへ変更もあります。

●九重へマンサクを見に行こう

リーダー：清家幸三

1、期 日：3月17日(土)～18日(日) 1泊2日

2、集合時間・場所：午前9時30分長者原駐車場

3、内容

・坊がつるで法華院温泉とバンガローの宿泊

4、コース:

1日目 沢水をスタートし、佐渡窪を經由して坊がつるへ

2日目 坊がつるからスガモリ越え經由で三俣山から長者原へ

5、概算予算: 約10,000円(参加者15人としての概算)

6、申込み: 清家幸三(携帯090-8664-4411)

又はqqmn2kd9k@fuga.ocn.ne.jpまで

7、締切り: バンガローの確保のために1月20日(土)までにご連絡ください。



●第1回山岳専科(平成30年度)

リーダー: 三浦利夫

テーマ: オリエンテーション・歩行技術その他

1、期日: 4月1日(日)

2、集合: 血倉山ケーブルカー山麓駅駐車場

3、時間: 午前8時30分集合

(ビジターセンターまで徒歩で移動予定)

4、携行品: 通常登山装備一式・筆記具・昼食

5、申込み: 三浦利夫(携帯090-2850-6020)

6、締め切り: 3月25日(日)

●杵島岳(1326㍍)～阿蘇烏帽子岳(1337㍍)

リーダー: 赤瀬榮吉

1、期日: 4月8日(日)

2、集合: 道の駅阿蘇(国道57号線沿い)

3、時間: 午前8時45分集合

4、行程: 草千里～杵島岳～烏帽子岳～草千里

コースタイム: 約4時間

5、申込み: 赤瀬榮吉(携帯090-7475-9748orE-mail)

6、締め切り: 4月1日(日)

●緩木山(1046㍍)～越敷岳(1061㍍)

リーダー: 歳弘 逸郎

アケボノツツジを見に行きませんか

1、期日: 4月29日(日)

2、場所: 大分県竹田市

3、行程: 大規模農道(宇目小国線)登山口—

緩木山—祖母山分岐—越敷岳—登山口

約8km 6時間30分の周回コース

4、申込み: 歳弘逸郎(携帯090-4806-2878)

5、締め切り: 4月21日(土)

1月30日(火)

久住分れトイレ周辺の

視察山行のお知らせ

【依頼内容】

主催: 山のトイレ・環境を考える福岡協議会
運営委員長 貞苅 誠

第5回久住分れトイレ周辺の視察山行について

当会では、昨年度から重点的活動計画として九重山域の自然環境調査等を行い、改善に向けた活動を進めるため、昨年10月27日に第1回久住分れトイレ視察山行を実施して以来、本年1月17日(行先変更)、6月3日及10月22日(悪天候のため中止)と2回にわたり久住分れトイレ視察山行を実施してきました。

今回は昨年度実施できなかった冬季の久住分れトイレ周辺の視察山行を行います。特に冬季は久住分れトイレが閉鎖されているため、同トイレ周辺の環境への影響が懸念されるため、それを確認・記録し、今後の活動方針を定めるに当たり重要な視察山行であります。

つきましては第5回久住分れトイレ周辺の視察山行参加をよろしくお願いします。

記

1 実施日 1月30日(火)

2 集合時間・場所 午前7時30分・天神日銀前
(基山PAでも乗車できます。事前に申出のこと。)

3 行先 九重山域・久住分れ

4 予定コース 天神＝基山PA＝大分道＝牧ノ戸峠…沓掛山…久住分れ(昼食後トイレ周辺視察)…沓掛山…牧ノ戸峠＝大分道＝基山PA＝天神

5 交通手段 バスは定員20名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

(参加人数が少ない場合はマイカー利用を検討)

6 費用(バス代) 4,000円

7 主催責任者: 貞苅 誠(福岡県山岳連盟)

8 申込方法

所属団体ごとに取りまとめしますので、参加希望者は1月13日まで磯野文雄(携帯090-4989-5961)へ

9 装備 冬山の日帰り装備(アイゼン等。防寒対策を十分に、昼食は行動食を用意すること)

※久住分れトイレは閉鎖されています。

携帯トイレをご持参ください。

※帰りの入浴はありません。

※少雨決行、行程を変更する可能性があります。

※ご不明な点等ございましたら、担当: 大田勝(携帯090-9607-7556)までお電話ください。

会 務 報 告

● 平成29年11月定例役員会

事務局 竹本正幸

日 時：平成29年11月1日(水)18:00~20:00

場 所：当支部ルーム(毎日会館 1F)

参加者：関口興洋、磯野文雄、竹本正幸、丹下洽、
榊俊一、丹下香代子、大内喜代子、
縄田正芳、縄手修、森義雄、奥田スマ子、
塚本久嘉、馬場基介、池田智彦

欠 席：日向祥剛

議題

- (1) 会員の異動状況 通常会員:74人、支部友:36人、
準会員:2人、会友:4人
- (2) 会費未納 通常会員:12人、支部友:4人、
会友2人
- (3) 山行・行事報告
 - ・9月9日~10日 三高山月見懇親会 14人
 - ・9月10日 森林保全一斉巡視(平尾台)7人
 - ・15日~18日 甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳
台風のため中止(27人)
 - ・9月23日~24日支部合同会議 2人
 - ・9月30日~10月1日 第2回指導員研修
(英彦山青年の家) 11人
 - ・10月13日~14日 全国支部懇談会
(茨城支部主管) 2人
 - ・10月13日福岡支部講演会(岩崎元郎氏) 2人
 - ・10月22日第1回 榎有恒記念碑前祭
レセプション20人、サロン15人
(風師山は、雨天のため中止)
「門司こもれび会」「森武昭前会長」「石原
國利氏」よりご厚志をいただきました
来年10/21
 - ・10月29日九重山・三俣山紅葉登山(18人)
台風のため中止
 - ・10月25日山行委員会開催 13人出席
- (4) 山行・行事計画
 - ・11月3日(金)~4日(土)宮崎ウエスタン祭(16人)
 - ・11月18日(土)~19日(日)熊本支部60周年記念
式典(7人)
 - ・11月26日(日)第3回山岳専科
 - ・12月2日(土)~3日(日)年次晩餐会
 - ・12月9日(土)福岡支部記念講演
猪熊隆之(ヤマテン)
 - ・12月16日(土)忘年の集い
吉塚・ホテルサンヒルズ

- ・12月25日(月)ルーム大掃除 AM10時~
- ・1月6日(土)第3回指導員研修
- ・1月7日(日)新春登山・宮島弥山
- ・1月21日(日)第4回山岳専科
- ・1月28日(日)三郡山(難所ヶ滝)

(5) ポレポレの会

- ・9月28日(木)華山(13人)
- ・10月26日(木)鴻ノ峰、兄弟山(11人)
- ・11月16日(木)桧原山
- ・1月11日(木)相原山
- ・2月22日(木)荒滝山

審議事項

- (1) 支部合同会議報告(事務局)
- (2) 全国支部懇談会報告(事務局)
- (3) 森林保全巡視員申請について(磯野副支部長)
15人 忘年の集いにて授与式
- (4) 平尾台ラムサール条約認定への支援活動につ
いて(丹下渉外・交流委員長)
広報活動、山岳会として指導してほしい、
後援名義使用については本部に申請する。
- (5) 山行委員会報告(塚本山行委員長)
- (6) 第19回 通常総会の日程
4月21日(土)場所は1月役員会にて決定
- (7) 英彦山清掃登山の日程と担当
4月15日(日)責任者:日向副支部長
- (8) 新入会員の年会費月割りについて(4期に分け
る)一期1,250円
- (9) 個人山行時の計画書提出の再検討
支部会員で行く場合は計画書提出。
家に計画書を置いておく。
- (10) 年次晩餐会参加者(日向祥剛、関口興洋、馬場
基介、大内喜代子、竹本正幸、縄田正芳、縄
手修、小林英世、三宅明子)
- (11) 山岳保険加入の問題
(ビジターの保険加入について)
山行申込時に保険加入を確認する。
保険に入っていないと参加させない。
ビジターも入ってもらう。
スポーツ保険加入の案内を1月発行の支部報に
掲載する。
- (12) 登山計画書の個人情報問題
参加者配布は会員番号と氏名のみ、ビジター
の情報としては自己紹介をしてもらう。
リーダー、サブリーダー、留守本部、事務局
には連絡先も記入する。
個人山行は、安全委員長に提出する。

- (13)次年度各委員会における事業計画および本年度の事業報告について(磯野副支部長)
各委員会は12月末までに事業計画を事務局に提出する。
- (14)支部報の原稿作成時のお願い(森広報委員長)
支部報原稿の投稿者が特定の会員に偏っている。新しい会員だけでなく、古い会員の方も掲載をお願いしたい。
- (15)その他
新入会員を対象にした山岳専科を1回/年計画しては・・・。
次回定例役員会 1月8日(月)午後5時予定
以上

九州シカ広域一斉捕獲のお知らせ

春季一斉捕獲が行われます。
対象区域がありますので、詳しくは九州森林管理局までお尋ねください。
一斉捕獲日：3月18日(日)・25日(日)

問い合わせ先：九州森林管理局保全課
(TEL 096-328-3542)

ビデオの設置

園川シリーズ NO1～NO12までの記録ビデオ(ブルーレイディスク)をルームに支部の備品として備え付けました。上映も可能です。
(伊藤久次郎)

ルーム便り (10月～12月)

- 9月13日(水) 版画同好会
9月23日(土) 支部報原稿まとめ(森)
10月4日(水) 版画同好会
10月5日(木) 支部報発送準備(5人)
10月16日(月) 平尾台ラムサール打ち合わせ
10月18日(水) 碑前祭打ち合わせ(4人)
10月19日(木) 碑前祭打ち合わせ(3人)
11月1日(水) 版画同好会
11月1日(水) 定例役員会(11月期))
11月15日(水) 版画同好会
11月22日(水) 版画同好会
11月29日(水) 版画同好会、ビデオ放映
12月6日(水) 版画同好会

英彦山山頂トイレ掃除の支部当番 平成30年1月から4月までの計画

英彦山山頂トイレの清掃日は以下の予定です。
会員皆様のご参加協力をお願いいたします。

期日：1/3(水)、2/14(水)、3/28(水)
4/15(日)

※参加できる方は、事前に自然保護担当奥田スマ子(携帯080-8589-0903)までお申し込みください。当日、英彦山別所駐車場に午前9時集合し、山頂へ向かいます。

登山保険のお知らせ

登山をするために保険に加入しましょう！
登る前には必ず自分の保険内容を確認し、登山届を提出しましょう！
まだ保険に未加入の方は、事務局までお尋ねください。

○スポーツ保険の紹介

加入手続きを行った4人以上のアマチュアの団体・グループの構成員を被保険者として加入できる保険です。保険には、①傷害保険、②賠償責任保険、③突然死葬祭費用保険などを一括契約した補償制度です。保険の価格も比較的安い。

○日本山岳会の団体登山保険の紹介

日本山岳会独自の登山保険
加入対象者(被保険者)：日本山岳会通常会員
年齢制限なし、山岳登攀コース・軽登山コースあり。

他にも多くの保険があります。
対象とする登山の山で、技術が伴う内容やレベルなどで大きく保険内容が変わりますので、自分にあった保険に加入してください。

掲載のお詫び

平成29年12月に開催されました、本部晩餐会および支部忘年の集いは、紙面の関係から次号(4月号)に掲載させていただきます。

サロンのお知らせ

博多サロン

小倉サロン

開催日：毎月第4水曜日
 場 所：小倉北区魚町「コール天」
 申込み：竹本正幸（携帯090-6739-9251）

1月24日(水) 午後6時から
 2月はお休みです
 3月28日(水) 午後6時から
 4月25日(水) 午後6時から

開催日：2月8日(木) 午後6時30分
 場 所：丸海屋博多駅築紫口店 18時30分
 ☎092-432-4455
 会 費：3,500円程(飲み放題)
 申込み：赤瀬榮吉(携帯090-7475-9748 or X-LL)
 締切り：2月1日(木)



居酒屋「コール天」

●場所：小倉北区魚町1-2-23 桧山ビル2F
 TEL:093-522-0565
 JR鹿児島本線 小倉駅南口から
 ※中央銀天街方面に向かい徒歩5分

※北九州支部は小倉サロンでお世話になっています



歌声喫茶を楽しむ会

毎月10日

時間 19時～

会費 2,000円

スナック

飲物・お菓子・
果物等準備して
おります!

ぎんなん
銀杏

TEL.093-541-5516

童謡・懐メロ・寮歌・校歌・軍歌・ラジオ歌謡・山の歌

〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町1-2-2(坪根ビル)